

ハゲタカ出版 (Predatory Journals) に関する 8 つの質問： 名声を汚すことなく研究を守り、研究資金の不正な搾取や 詐欺に遭わないために

Predatory

/ˈpred əˌtɔː i/

adjective

1. preying upon others for food
“predatory snake species”
2. exploiting others out of greed or for personal gain
“the company’s predatory practices”

オープンアクセスジャーナルが普及し、オンライン出版への移行が進むにつれ、学術出版界には非常に大きな変化が起こっています。かつてないほど多種多様なジャーナルが存在し、数多くの論文が出版されるようになりました。その結果、ジャーナルの出版プロセスは多様化し、論文の著者は今までに無いほど過酷な出版競争に直面しています。このような出版界の変化を背景に、深刻な問題も起こっています。それは、著者の研究資金などを搾取するハゲタカのような出版社が発行する **Predatory Journals** の出現です。

今回の特集記事では、論文の著者であるお客様や、弊社のワークショップやセミナーの参加者の皆様から寄せられたご質問にお答えし、プレダトリー・ジャーナルとは一体何なのかをご説明したいと思います。また、理解を深めるのに役立つと思われる参考資料へのリンクもご紹介したいと思います。

Q1. プレダトリー・ジャーナルとは何ですか？

プレダトリー・ジャーナルの定義は複数あり、お答えするのは難しいのですが、簡単に説明すると、次のようなジャーナルと言えるでしょう：

「プレダトリー・ジャーナルとは、著者を欺き搾取的行為を行うジャーナルである」

この後具体的に見ていくように、「著者を欺き搾取的行為をする」という概念は様々な形態をとるため、どの出版社やジャーナルが搾取的で、どれが搾取的ではないかについては、人によって意見が異なります。しかし、数多くのプレダトリー・ジャーナルが明らかな詐欺にかかわっていることには疑いの余地がありません。著者がプレダトリー・ジャーナルを見極め、回避することを困難にしている一因は、一部には明らかな不正行為があるものの（過去の発表済み論文の大規模な重複、虚偽の査読など）、その出版プロセスの多くに搾取的な要素が見られないことです。論文の投稿先を選択する際、良いジャーナルと悪いジャーナルを見分けることは非常に重要です。

Q2. 良いジャーナルと悪いジャーナルの違いは何でしょうか？

簡単に言うならば、良いジャーナルは下記に挙げる原則をすべて満たし、悪いジャーナルはそうではないということです。

1 研究の公開

論文を発表する理由は、つまるところ研究を多くの人々に見てもらうためです。紙媒体のジャーナルは決められた日に発行され、電子ジャーナルは常に最新の状態を維持し、いつでもアクセスが可能でなければなりません。[電子図書館連合 \(Digital Library Federation\)](#) は、数ある機関の中でも特に、電子出版された研究論文が永続的に入手可能となるよう取り組んでいます。

2 適正な審査

適正な査読、場合によっては編集委員または当該機関による審査がなければ、ジャーナルでの論文発表は、著者自身のウェブサイトやプレプリントサーバ、あるいは一般ジャーナルでの論文公開と差がありません。必ずしも全ての研究が査読審査付き専門誌での発表に向いているとは限りませんし、解説記事、テキストブック、モノグラフ、説明資料など、その他様々な発表の形態があることも確かですが、これら出版物の目的は学術論文とは異なります。資格者による適切な審査がなされないジャーナルは、学術ジャーナルとは言えません。

3 編集に関する、資格者による独立した監視・監督

正当な学術ジャーナルは、分野のニーズを受け、その分野で尊敬を集める優れた研究者によって確立されるのが一般的です。ジャーナルは、その正当性を示すため、ジャーナル編集委員会のメンバーシップを明確かつ正確に明言する必要があります。編集委員会は、ジャーナルに掲載する論文を理解し、評価できるだけの専門性を持つ学者で構成されるべきです。ジャーナル出版団体である[国際STM出版社協会](#)はこの原則を出版社の唯一の責務とし、[学術出版のための国際倫理綱領](#)の中で正確性と独立性の2つに分類して述べています。

4 他の学者による受け入れ

BMJのJocelyn Clark氏は、対象ジャーナルがPubMed CentralとWeb of Scienceに含まれているかどうかをまず調べてみることを[勧めています](#)。含まれていないからといって、そのジャーナルが搾取的であるということにはなりません、これらのデータベースに含まれていないジャーナルに掲載された論文は学術論文ではないとみる機関や研究費出資団体もあります。

ジャーナルおよび出版社の義務については、[出版倫理委員会 \(Committee on Publication Ethics: COPE\)](#) のサイトをぜひご覧ください。

Q3. プレダトリー・ジャーナルはどういうことを行うのでしょうか？

プレダトリー・ジャーナルは、詐欺的行為を働き、論文の著者を利用しようとします。最も一般的な不正の形態は、過剰な、あるいは、表示のない原稿出版加工料 (Article Processing Charges: APCs) の請求です。このタイプの手口は、料金に見合うだけの適切な価値を提供することなく、あなたの研究資金からお金を搾取しようと企てています。正当な出版社やジャーナルが要求するAPCと、プレダトリー・ジャーナルが要求するAPCを区別することが重要です (下記の“疑うべきプレダトリー・ジャーナルのサイン”を参照のこと)。それでは、何を以て正当か、あるいは搾取的かを判断するのでしょうか？それは、質と透明性です。

正当なジャーナルは、Q2で挙げた4つの原則を守り、APCや出版に伴うその他の料金について極めて明確に示しています。プレダトリー・ジャーナルはこれらの原則を悪用し、ジャーナルの読者数や重要度およびジャーナルの監視体制について虚偽の情報を提供していることがよくあります。特に、自誌のインパクトファクターや編集委員、そして内容について嘘を述べる傾向があります（時には、他のジャーナルから盗用して、正当なジャーナルを装っている場合さえあります）。

Q4. APCの非表示や過剰請求だけが不正行為でしょうか？

そうではありません。別の不正行為もあります。例えば、知的財産の盗用、詐欺または偽のピアレビュー、本人の了解なく高名な研究者を編集者リストに加える、などの行為を行っているかもしれません。APCは、他者の努力に乗じて利益を得る最も直接的な方法であるため、頻繁に悪用される手段となっていますが、ジャーナルや出版社が著者に対する義務を果たさない場合には、何らかの不正行為が行われていることを疑いましょう。

Q5. プレダトリー・ジャーナルの問題は頻繁に発生しているのでしょうか？

この質問は研究者の中でも常に議論されている問題です。コロラド大学デンバー校のJeffrey Beall助教授は、不正が多いとされている出版形態“オープンアクセス”の出版社を追跡調査しています。彼のブログScholarly Open Accessには、『Beallのリスト』と呼ばれるプレダトリー・ジャーナルと出版社のリストが掲載されており、議論が行われています。この特集記事を書いている時点において、このリストには671のジャーナルと811の出版社の名前が挙げられています。

Q6. ジャーナルまたは出版社が搾取的であることを示す指標は何でしょう？

プレダトリー・ジャーナルや出版社は、科学コミュニティを標的に詐欺行為を行うために多大な時間と労力を費やし、次から次に新しい方法を考え出します。しかし、それでもいくつかの特徴をチェックすれば、プレダトリー・ジャーナルや出版社を素早く見極めることができます。

- 1 『Beallのリスト』に名前が載っている、または引用サービスのリストに名前が載っていない
ただし、『Beallのリスト』に載っていること自体が、決定的な答えにはなりません。1つの出版社について2つの記述があり、搾取的行為（predatory practices）が示唆される一方で、最良事例（best practices）として述べられている場合もあるので、注意しましょう。
- 2 ジャーナルのウェブサイトにかかれた英語（あるいは該当言語）に間違いがある
うっかり間違えることは私たちにはよくあることですが、ジャーナルを発行する編集者が、そのジャーナルの発行する言語で上手く書けないとしたら、そのジャーナルを編集する資格がない可能性が高いように思われます。ジャーナルに掲載されている論文の言語レベルだけを問題視してはいけません。なぜなら、言語の正確性を気にするジャーナルもあれば、研究の発想だけに注意するジャーナルもあるからです。ウェブサイトの言語にも気をつけましょう。
- 3 高品質の証しとして、国際標準逐次刊行物番号（International Standard Serial Number: ISSN）を掲げる
ISSN加盟国の出版社は全て申請することができ、必須条件を満たせばISSNを取得できます。ISSNは単なる識別番号です。ISSNの運営機関は、「ISSNは本質的には意味を持たないデジタルコードである。このコードによって、出版内容の質または妥当性が保証されるものではない」と表明しています。

- ④ 支払いおよび「返金」（をしない旨）のポリシーを過剰に強調する
正当なジャーナルにとって、論文の内容こそが焦点を当てるべきものであり、研究予算の内容や口座番号に目を向けることはありません。その結果、意外かもしれませんが、正当なジャーナルにはプレダトリー・ジャーナルよりも多額の費用が発生するため、APCがより高額になることもあります。料金や返金ポリシーを過剰に強調するという事は、そのジャーナルが論文を発行することよりも、料金を受け取ることを一番の目的としている可能性を示しています。
- ⑤ 編集委員の名前が明かされていない、または編集委員会が架空のものである
正当なジャーナルは、編集委員とかれらの所属大学・機関のリストを公表しています。もし、名前が挙がっている人を疑わしいと思うならば、直接コンタクトを取り、そのジャーナルに関わっているかどうかを確認することができるわけです。

Q7. 特定のジャーナルに関する情報はどこで入手できますか？

まずは、搾取的可能性のあるジャーナルの一覧表『Beallのリスト』、また、PubMed CentralやWeb of Scienceなどの索引サービスを調べ、そのジャーナルが含まれているかどうかを確かめてみるとよいでしょう。また、学術研究の多くにおいてそうであるように、同僚やメンターは優れた情報源であり、相談すればセカンドオピニオンを得られる可能性も高いでしょう。ジャーナルが今何をしようとしているのか、また、何を成し遂げようとしているのかを常に意識することにより、プレダトリー出版社の手口に乗せられて、投稿させられてしまうような事態は少なくなるでしょう。

Q8. 私の代わりに、ジャーナルを評価してもらうことは可能ですか？

多くの研究者の方々が自身の研究においてベストを尽くすように、私たちThinkSCIENCEもベストな仕事をする努力を続けています。論文の言語の質を向上させ、あるいは高品質な翻訳を行うことにより、お客様の研究成果をより良いジャーナルに発表できるようお手伝いするだけでなく、様々な方法で研究者の皆様のサポートを行います。ジャーナルや出版社の選択でお困りの場合にはお手伝いしますので、ぜひご相談ください。

まとめ

学術出版は本来、そのシステムに関わる人達の誠実さを信頼して成り立っています。出版社には自社のジャーナル編集者をサポートする義務があり、ジャーナルには投稿論文を効果的に審査し、著者に情報を明確に伝え、約束したサービスを実行する義務があります。また、論文著者には、盗用・剽窃などを犯すことなく、倫理的に作られた研究論文を投稿する義務があります。しかしながら、中には倫理的に行動しない人々がいるために、プレダトリー出版のような問題が起こるのです。

この特集記事が、読者の皆様自身が、あるいは、皆様が指導している学生の方々が出版社やジャーナルを選ぶ際に、何を考慮すべきかを考える契機になればと思います。ThinkSCIENCEは論文出版プロセスの様々な段階のサポートを行っていますので、ジャーナルや書籍の出版社を選択するにあたって（書籍出版社からの出版依頼に対する対応も含め）サポートが必要な場合には、ご連絡ください。